

令和３年度第５回芽室町総合計画審議会議事録

令和３年１２月１日（水）１８：３０～１９：１０

役場２階 会議室７

■出席委員（１２名）

貫田会長、明瀬副会長、廣江副会長、小椋委員、小池委員、小林委員、白銀委員、珠玖委員、鈴木委員、高道委員、鳥本委員、林委員

■欠席委員（３名）

岡田委員、松山委員、南館委員

■事務局・説明員

佐々木政策推進課長補佐、佐藤

■開会

■会長挨拶

■議事 報告事項

資料に沿って、事務局より説明。

会長

今の説明に対して、意見・質問はあるか。

委員

資料２ Ｎｏ，３１の担当課の対応内容について、「民間委託先については、入札方式による金額のみによる選定ではなく、本業務を遂行するため知識、技能、実績や提案等を視点において評価するプロポーザル方式で９月の審査会において選定を予定しています。」と記載があるが、この９月は来年度の９月なのか。

政策推進課長補佐

担当課回答のタイミングが本年９月以前であり、対応内容に記載した９月は本年９月のことである。また、既に選定を終えている。

委員

資料2及び資料3の施策の外部評価意見への対応一覧において、担当課の対応方針で「1 対応する」、「2 検討する」、「3 対応不可」とあり、専門部会と審議会それぞれ「2 検討する」としたものが約50%。「2 検討する」ということは、対応するとも対応しないとも読み取れることから、度合いの感触を伺いたい。

政策推進課長補佐

「2 検討する」は、提案のあったご意見をそのまま取り入れられるかどうかはわからないが、総合計画審議会からの意見として、ニュアンスや発想も含めて一部でも取り入れることを前向きに検討して行くという意図だと認識している。

委員

資料3 No. 8の意見「向こう三軒両隣」による支え合いには、「町内会との連携」が欠かせないのではないか。」に対して「1 対応する」としていただいたことはありがたい。ただ、4年前から町内会の脱退に伴う衰退に危機を感じて市街地町内会連合会（以下、「連合会」という。）ではポスターや啓発活動を行ってきた。それまでは20年前から遡ると1.7%から2%の減少率、つまり年間100戸以上が町内会から脱退していく状況だった。それが、連合会が啓発活動を行うことによって減少率が半減したものの、未だに減少傾向は続いている。今は約1.2%の減少率となっている。このままでは5年後には、加入戸数が50%を割る。半分以上の戸数の方々で公園、道路を掃除するのか、広報配布するのかということになってくると、加入率は急激に減少すると想定できる。おそらく今が勝負時。これらの観点から、対応内容として「地域コミュニティの活性化・強化のため、各町内会と協力し…」と記載があるが、「地域コミュニティの活性化・強化のため、市街地町内会連合会を中心に、各町内会と協力し…」と修正いただきたい。なぜなら、単一の町内会と協力するだけでは力にならず、連合会が元締めをしてしっかり運動を展開していかなければならないということで活動しているからである。また、単一の町内会ごとで温度差にバラつきがある。例えば、毎年町内会長が変わる町内会では継続した取組が困難で、未加入者を防ぐ対応などが難しい。将来の加入率の推移は連合会が分析しているが、単一の町内会だけではこのような情報は入手できない。市街地町内会連合会の組織的な活動を尊重するという意味で、対応内容に追記していただきたい。

政策推進課長補佐

おっしゃることは理解した。担当課が回答しているため、ご意見として承り、改めて担当課でどのように対応するかを確認させていただく。修正があった場合には、文書で委員の皆さまにお知らせするという対応でよろしいか。

会長

担当課の回答について、何らかの形で報告していただきたい。

また、数年前に川が決壊する水害があった。その際、町内会未加入者が「なぜ助けに来ないのか」という意見を耳にした。一人でも多くの方に町内会へ加入してもらうことは町を挙げて緊急に取り組まなければならない問題だと思う。審議会としても強く要望して、対応内容に追記していただきたい。

委員

資料3 No. 11について、また町内会に関係するが、新型コロナウイルスの新たな変異株が出現し、来年も続くことが想定される。過去2年間は町内会の防災訓練が実施していないが、これからはコロナ禍での防災訓練が必要だと思う。ぜひ取り組んでいただきたい。また、私の町内会は市街地から離れており、約60%が高齢者。避難所となる総合体育館までは移動できない。町の統計では約30%が高齢者で、国の危険水準を超えている。その中で高齢者の移動について、実態に即した案をお示しいただきたい。

会長

今の意見も記録し、後日回答いただきたい。

委員

資料5 11項 問7の回答について、全学年で公務員が上位3位に入っている。この回答から分析などしているか。

政策推進課長補佐

この回答は自由記述のものであり、この回答から推察されるものは持ち合わせていない。3学年全てに入っていることから担当内でも話題になった。

委員

公務員は理想の職業として中学生に映っていると推測される。ぜひ職員の皆さまには意識していただきたい。

委員

アンケートを回収すること自体は素晴らしいと思うが、施策マネジメントシートの5-1-1「徹底した情報共有と町民参加の促進」の施策の「結果」欄では、「…町民が主役となったまちづくりを進める」と記載されている。その結果に対して、成果指標である住民意識調査（アンケート）の回答割合では図れないと思う。本当に町民が参加するまちづくりとは、アンケートに回答するのではなく、例えばごみ拾いのイベントに参加

することや、市街地町内会連合会で行っている国道の花壇作りなどに参加を募って、一緒に汗を流す経験をしてこそ実現できると思う。一緒に汗を流すことを考えていただきたい。

また、資料6 30項「子育て環境の充実や支援」のテーマで手島町長の回答において「地域の活動として町内会があるが、加入率は56%で高齢化しており若い人の加入が少ない。町として対応を求められることも多いが、任意組織のため、なかなか難しい課題」と記載がある。町内会は、ある時は任意組織と言われ、ある時は広報誌やパートナーシップで町の掃除など、様々な公共の役割を担ってきている。昔の歴史を調べてみると、20年～30年前は役場と町内会が一体となった行政区制をとっていたが、「これからは自治の時代」という理由から民営化となった。そのことから、民営化となった町内会を町が育ててこそ、当時の施策が生きると思う。それを「任意組織だから難しい」という表現で切り捨ててしまうと町内会活動は衰退していく。十勝では民営化している自治体は芽室町だけであるが、全国では民営化していることは主流。芽室は間違った施策をしたのではなく、素晴らしいことをやろうとした。だからこそ、町内会を育ててサポートしていくことは町の役割だと思う。

会長

他に意見・質問がなければ事務局より、今後のスケジュールを説明する。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に対し、意見・質問はないか。

(なし)

会長

それでは、本日の会議を終了する。お疲れさまでした。